

ごはんについて
考えてみましょう！

お米が食卓に届くまでを
見てみましょう！

日本と世界の食べもの事情に
ついて学びましょう！

いついつ時の蓄え

お米を取り巻く状況・政策

国内産米の安全性の確保

農薬はお米を病害虫から守り、毎年安定した収穫をあげるためのサポーターです。ただし、その使用方法によっては人畜及び環境に悪影響を及ぼす場合もあるので、厳しい基準に基づく審査をパスしたもののみを登録し、かつ、使用する場合の量、時期、濃度、回数を細かく決めて、その遵守を義務付けています。この使用基準を守る限り、食品衛生法の残留基準を超えて農薬が残留することはありません。

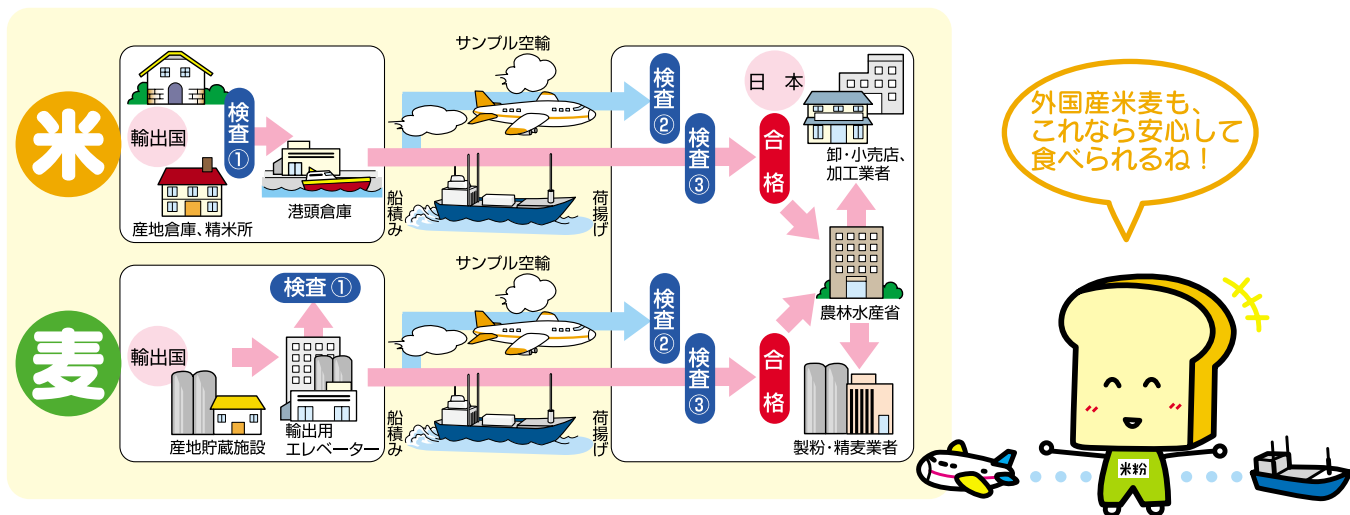
農林水産省は、安全で安心のできる主食を国民に供給する観点から、農家段階において、自主的に安全なお米生産のための取り組みを支援するとともに、農薬の使用状況を点検します。

さらに、トレーサビリティシステムの導入を支援するとともに、引き続きお米の残留農薬を分析し、安全性の確認を行ないます。

外国産米麦の安全性の確保

農林水産省が輸入している外国産米麦については、食品衛生法に基づく残留農薬等の規格基準に照らして、厚生労働省と連携のうえ、輸出国での船積み前(検査①)、船積み時(検査②)、日本到着時(検査③)の各段階でそれぞれ所要の検査を行い、安全性を確保しています。

■輸入米麦の安全性検査

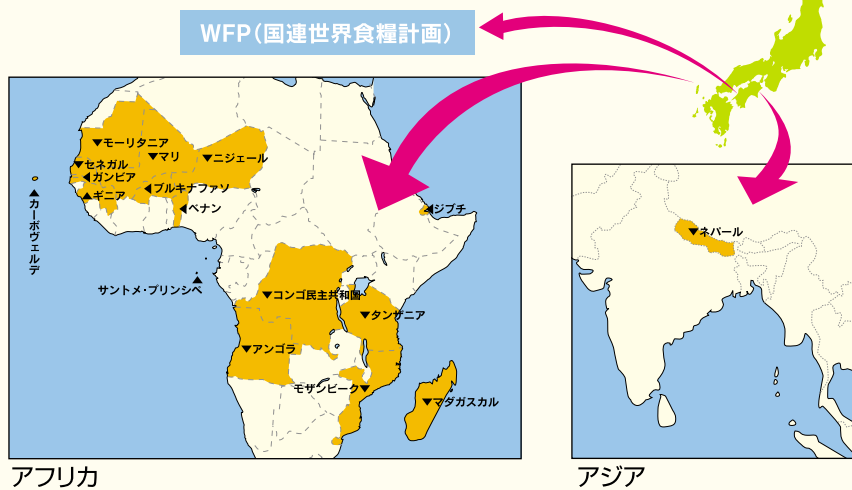


知っていますか? ~その5~

■政府米を利用した食糧援助 (平成16年度実施分、17年2月末現在)

わが国では、食糧が不足し援助を求めている国々に、備蓄しているお米を利用した食糧援助を行なっています。

平成16年度(17年2月末現在)には、アフリカ・アジアを中心とする17ヶ国等に対して約16万トンの食糧援助を行なっています。



🍌 日本と世界の食べもの事情について学びましょう!

【わが国の食料自給率は?】

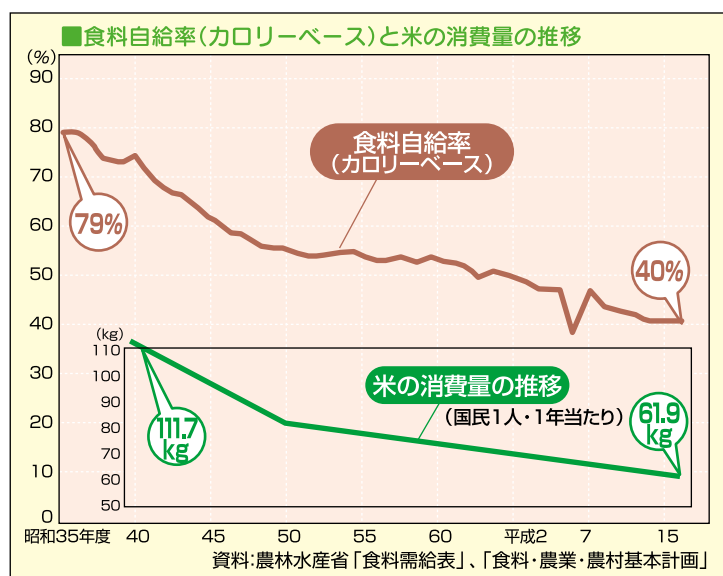
日本は雨が多く、夏の気温が高いため、稲作が発達しました。昔の食事は日本の気候風土にあったごはんを中心としたものでした。しかし、わが国の食料自給率(カロリーベース)は、昭和40年度の73%から平成15年度の40%へと、大きく低下してしまいました。なぜでしょうか?

その主な原因は私たちの食生活の変化にあります。自給率の高いお米(自給率95%)の消費が減り、代わりにお肉や油(家畜のエサや油の原料の多くは輸入している。)を使った料理が多く食べられるようになりました。その結果、国内生産で十分対応できず、外国からの輸入が増えて、食料自給率が低下していったのです。

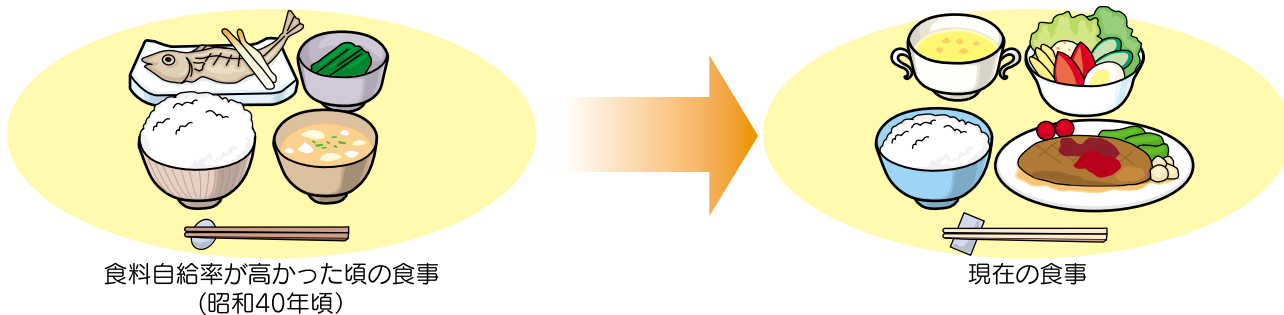
現在では、日本は、主な国の中でも最低水準の食料自給率となっています。

食料自給率って?

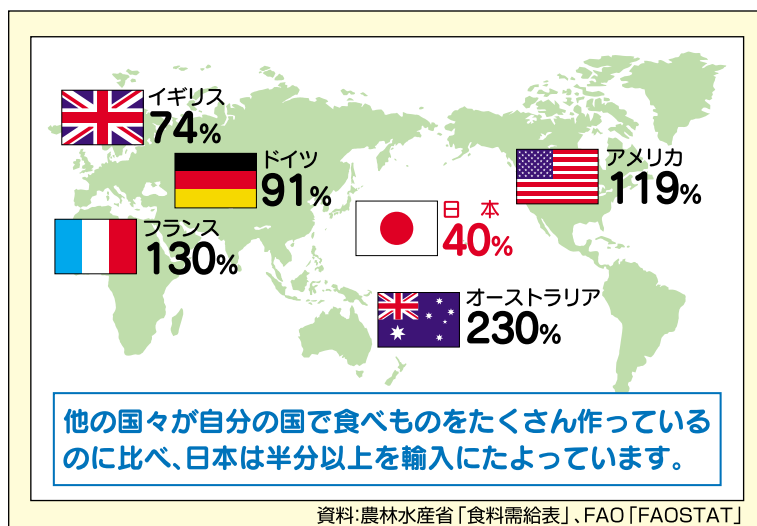
その国で消費される食料が、どのくらい国内で生産されているかを表す数字です。



食生活の変化を見てみよう!

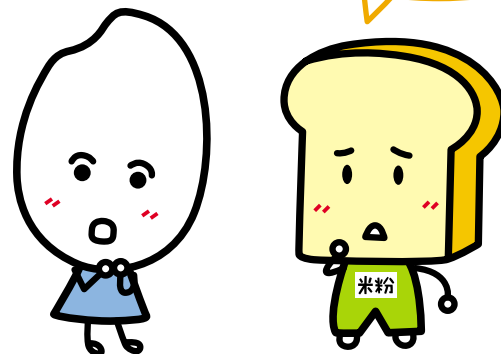


主な国の食料自給率(2002年カロリーベース)は?



本当にこのままで大丈夫なのかしら?

ウン、心配だね。



ごはんについて
考えてみましょう！

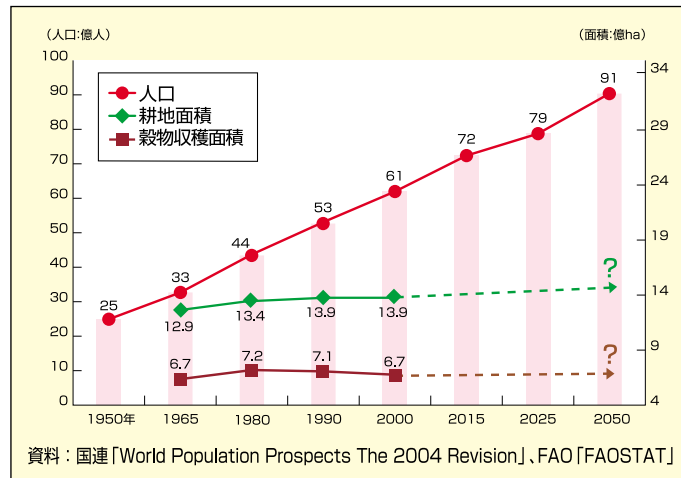
【世界の食べもの事情は？】

世界の人口は、発展途上国を中心に大幅に増加し、2000年の61億人が2050年には91億人に達すると予想されています。今後は、開発途上国の消費水準の向上が見込まれることから、世界の食料需要は大幅に増加すると見込まれています。

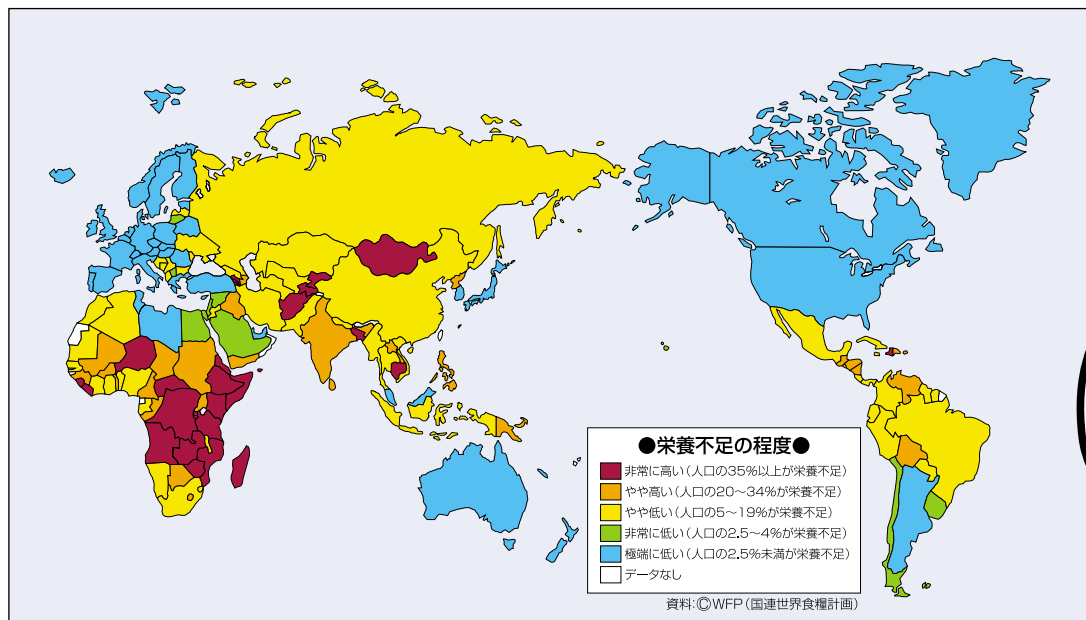
一方で、世界の耕地面積及び穀物収穫面積は、ほぼ横ばいで推移しており、今後大幅に増加する可能性は低いと考えられています。

また、世界には今でも8億人を超える人々が飢餓や栄養不足に直面しております。

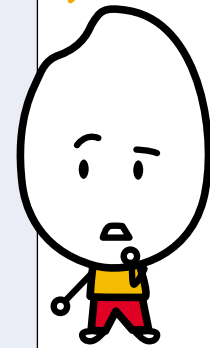
■世界の人口と耕地面積・穀物収穫面積



■世界各国の栄養不足に苦しむ人の割合



世界には、食べものに困っている国があるんだね。



お米が食卓に届くまでを
見てみましょう！

日本と世界の食べもの事情について学びましょう！

いついつ時の蓄え

お米を取り巻く状況・政策

(もし、輸入が出来なくなったら…試算)

もし、輸入が出来なくなる等の予測できない事態が起こった場合に、多くのエネルギーを確保するため、イモ類などへ作物をつくり換えることにより、1人1日当たり1,880~2,020kcalの供給が可能であるとの試算結果が出ています。

現在と比べると、エネルギー摂取量は減少しますが、昭和20年代後半と同等程度の供給が可能であると考えています。

では、予測できない事態が起こり、輸入が出来なくなった場合の1日の食事メニュー例を見てみましょう。

(詳しくは、総合食料局ホームページ【食料の安定供給】に掲載されている「II食料需給ステーション」の「④食料安全保障」をご覧ください。)

■国内生産のみで、2,020kcal供給する場合の一日の食事のメニュー例

